

日本遺産

— 北総四都市江戸紀行 —

～江戸を感じる北総の町並み～



JAPAN HERITAGE

日本遺産



北総四都市江戸紀行
Hokuso-4cities Edokiko

“成田のお不動様”の名で親しまれる『成田山新勝寺』や情緒あふれる町並みを残す成田山表参道をはじめとした、昔ながらの江戸文化・伝統を残す門前町・成田が、世界に誇れる文化財として、日本遺産に認定されています。



年間約1千万人の参詣客が訪れる
大本山成田山新勝寺



江戸時代の面影を色濃く残す
成田山表参道



江戸時代の義民 木内惣五郎を祀る
宗吾霊堂（鳴鐘山東勝寺）



300年以上の歴史を誇る成田の夏の風物詩
成田祇園祭



【大本山成田山新勝寺】

年間 1,000 万人以上の参詣客が訪れる成田山新勝寺。境内には、大本堂や総門をはじめ様々な建造物が建立されており、その中でも、光明堂、釈迦堂、三重塔、仁王門、額堂の 5 棟が国の重要文化財に指定されています。

また、「成田屋」の屋号で知られている歌舞伎役者 市川團十郎とは、江戸元禄以来、不動尊信仰の絆で結ばれています。このようなご縁もあり、成田市では十一代目市川海老蔵さんを「成田市御案内人」に任命し、日本の伝統芸能・文化と連動しながら、成田の魅力を発信しています。



【宗吾霊堂（鳴鐘山東勝寺）】

重税に苦しむ農民を救うために將軍への直訴を行った江戸時代の義民・木内惣五郎が祀られるお寺です。

大本堂裏手には、在来アジサイをはじめ、ガクアジサイ、柏葉アジサイなどの 7000 株を数える紫陽花が咲き誇り、毎年 6 月には「紫陽花まつり」も開催しています。期間中の各日曜日には、お茶会や演奏会などのイベントが開催されています。

成田の構成文化財の紹介



【成田山表参道】

J R・京成成田駅から新勝寺門前までの表参道は、大野屋旅館や三橋薬局などの歴史的建造物が残る江戸情緒あふれる町並みで、成田名物うなぎ料理のほか、スイーツから名酒まで様々なグルメがお楽しみいただけます。成田空港を擁する成田ならではの外国気分が味わえるスポットもありますので、成田山でお参りしたあとは、ぜひ成田山参道をお楽しみください。



【成田祇園祭】

300 年以上の歴史があり、毎年約 45 万人もの観光客が訪れる、成田の一大イベントです。成田山新勝寺の御輿と各町内の山車・屋台が、3 日間にわたって成田山表参道を中心に威勢よく引き廻され、踊りとお囃子の競演が行われます。

毎年、7 月上旬（8 日に近い金土日）に開催しております。

成田の観光情報はこちら→



日本遺産とは…

文化財を活用し、観光振興や地域活性化を図ることを主な目的として、文化庁が平成 27 年度から創設した制度です。地域に根付き、世代を超えて受け継がれている歴史的魅力にあふれた文化財群を、共通のテーマごとにまとめ、日本の文化・伝統を語る「日本遺産」として認定するものです。

平成 28 (2016) 年に成田市は、「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」-佐倉・成田・佐原・銚子 百万都市江戸を支えた江戸近郊の四つの代表的町並み群- の 1 つとして認定されました。